

資料1



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

地域の

公共施設の 未来を考える ワークショップ

【第4回】 高津区

令和 6年 10月 6日 (日)

14:00~17:00



はじめに (1/2)

- 本市では、市民の皆様の活動等の場となる様々な公共施設を保有しています。
- 今後見込まれる人口減少や老朽化といった問題が生じる中、公共施設が将来にわたって必要な機能を提供していくためには、
「今ある公共施設を大事に賢く使っていくこと」が重要です。
- こうしたことを踏まえ、本市では、令和3年度に『資産マネジメント第3期実施方針』を策定しました。

はじめに (2/2)

- 現在、この方針に基づき、公共施設において、より最適な機能を提供できるようにするため、市民の皆様と意見交換を重ねながら資産マネジメントの取組を進めています。
- そうした中、昨年度は川崎区・幸区・高津区・麻生区のモデル地域において、第1回・第2回ワークショップを行いました。
- 今年度は新たな参加者の方々にも加わっていただき、第3回から第5回までのワークショップを進めています。

- ・ 記録作成のため、スタッフが写真撮影をします。
NGの方はお近くのスタッフまでお知らせください。

本日の進め方

14:00 川崎市からの説明

14:10 本日の進め方

14:15 意見交換①（60分）

起点施設周辺エリアの将来像（暮らしやすいまち）を考えよう

15:15 - 休憩 - （10分）

15:25 意見交換②（65分）

起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズを考えよう

16:30 発表・まとめ

16:50 今後の予定・アンケート記入

17:00 閉会

1

川崎市からの説明

1 川崎市からの説明①

本市の公共施設について

本市の公共施設について



学校



市民館



図書館



老人いこいの家



こども文化センター



スポーツセンター

公共施設は、**市民の日常生活に必要な様々なサービスを提供**しています。

こうした公共施設が**地域の様々な場所**にあります。

本市の公共施設について

地域活動のために
話し合いたい！

多世代の交流イベントを
開催したい！

講座を受講
したい！

作品の発表を
したい！



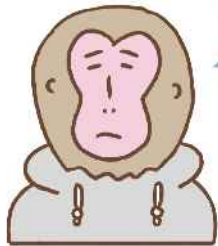
仲間と体を
動かしたい！

地域では、様々な活動で**公共施設が活用**されています。

将来にわたって公共施設は地域における活動の場としての役割
を果たしていく必要があります。

本市の公共施設について

一方で、公共施設にはこのような課題もあります。



仕事後の夜に使いたいのに
施設が閉まっている

空いているようだけど
個人では使えない



利用対象が団体に限定されていて利用できない。

年齢により利用対象が限定されていて利用できない。

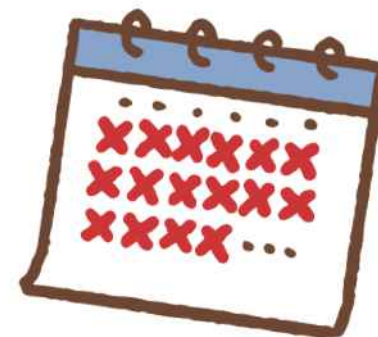
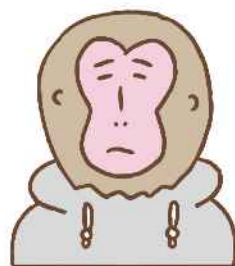
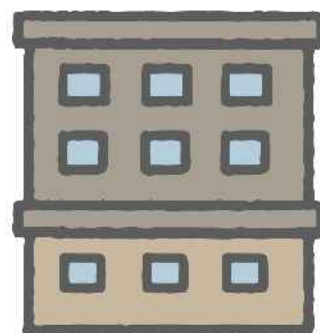
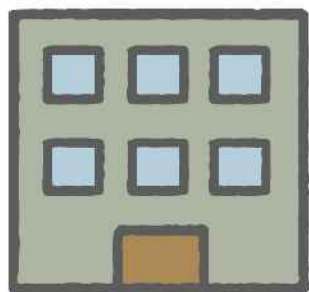


利用可能な時間帯と利用したい時間帯が合わず利用できない。



利用率が低いにも関わらず利用可能なことが知られていない。

本市の公共施設について



多様な市民ニーズに対し、

公共施設が利用できない・利用されていないという、

ニーズと現状に「ずれ」が発生している状況です。

本市の公共施設について

10年後の公共施設の築年数



※令和3年3月末時点の公共施設の面積を基準とした場合

川崎市の将来人口推計



人口減少や老朽化した建物の
維持管理・更新の問題



市民1人あたりの費用負担
の増大が見込まれている



全ての公共施設をこれまでと同様に更新していくことは非常に困難な状況

本市の公共施設について

- ・ 今後見込まれる人口減少や老朽化といった問題が生じる中、公共施設が将来にわたって必要な機能を提供していくためには、**今ある公共施設を大事に賢く使っていくことが重要です。**
- ・ 今ある公共施設の使い方を変えて「**ずれ**」を解消することにより、**ニーズに合った公共施設**としていくことが可能となります。

例えば、

夕方、校庭を使っていないなら
ボール遊びをしたいなあ…



**利用されていない時間帯（隙間）を活用することで、
ニーズに応えることができると思っています。**

地域ごとの 資産保有の最適化について

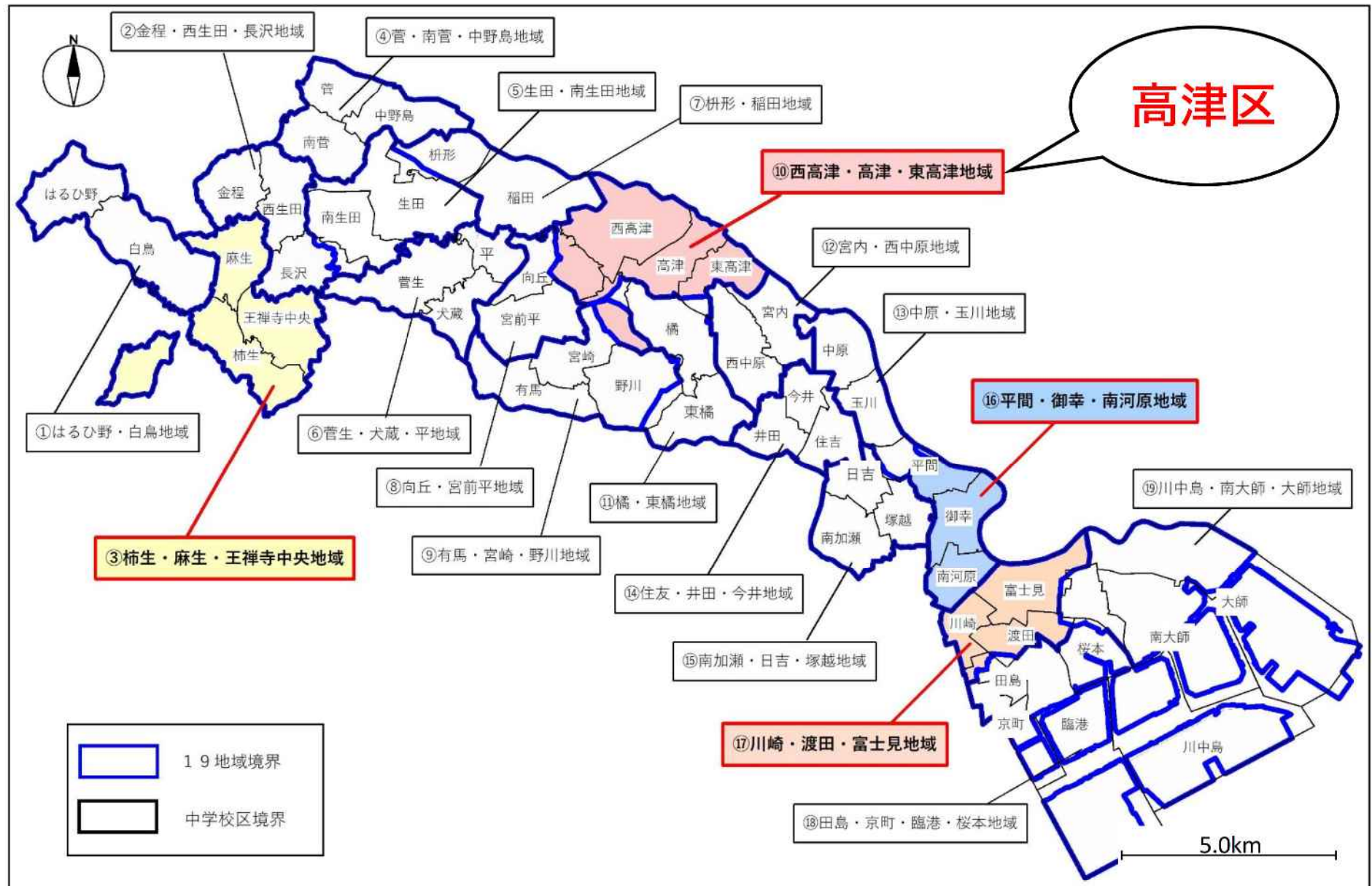
地域ごとの資産保有の最適化について

－ モデル地域の選定 －

- 地形、鉄道路線・バス路線等の状況、町内会・自治会のエリア等を踏まえ、2～4程度の中学校区単位を基本とする19の「地域」を仮設定しました。
- この中から施設の規模・老朽度・利用状況等を基に、**モデル地域として4地域を選定**し、令和5年度から検討を進めています。

地域ごとの資産保有の最適化について

－ モデル地域の選定 －

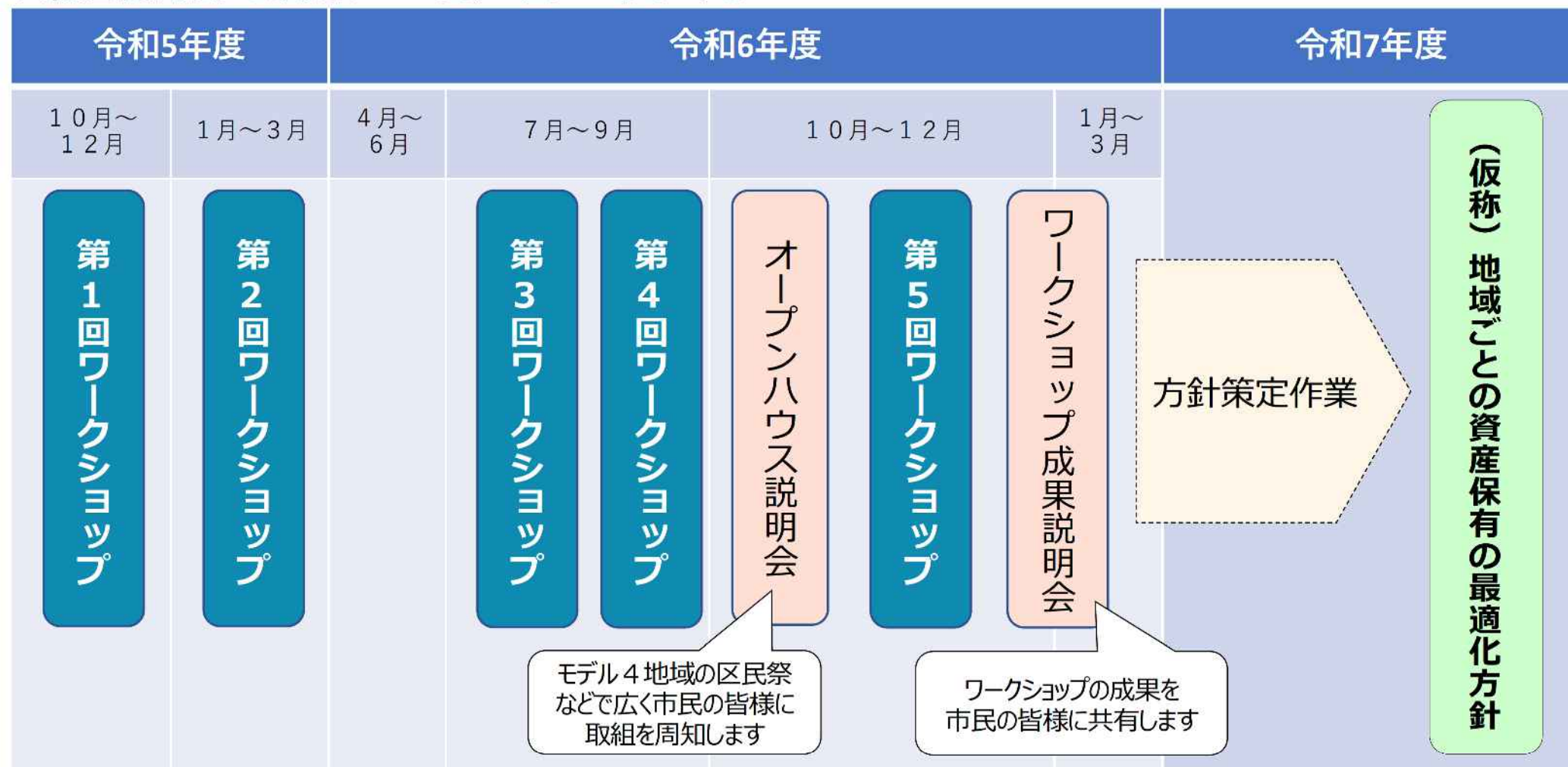


1 川崎市からの説明③

ワークショップについて

ワークショップについて - スケジュール -

地域ごとの資産保有の最適化に向けた検討を市民の皆様と一緒に進める取組の一つとして、令和5年度からワークショップを実施しており、令和7年度の（仮称）地域ごとの資産保有の最適化方針の策定につなげてまいります。



ワークショップについて - スケジュール -

令和5年度

第1回

カワタン
体験会

第2回

モデル
地域の
将来像・
施設の
使い方を
考える

令和6年度

第3回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討①

第2回で話し合ったモデル地域の将来像等を踏まえ、その実現に向けて起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ等を考える

第4回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討②

前回に引き続き、具体的な施設を基に考える
※班ごとに第3回とは別の施設を考える

第5回

これまでの検討の共有、成果のまとめ

班ごとに行っていた検討を全体に共有し、参加者相互に意見交換を行いながら、各施設の使い方等を成果としてまとめる。

1 川崎市からの説明④

～昨年度の振り返り～

昨年度の振り返り – 第1回の様子 –

第1回では、資産マネジメントの取組を理解していただくために、
公共施設の未来体験ゲーム「カワタン」を体験していただきました。



昨年度の振り返り – 第2回の様子 –

第2回では、地域の魅力的な将来像や、将来像を実現するための公共施設の使い方を考えていただきました。

意見交換の流れ

意見交換①

65分

地域の魅力的な将来像を考えよう

20年後の世界に住む人について考える＝ペルソナ

その人々が暮らす将来の地域についてみんなで考える＝将来像



中間発表・休憩

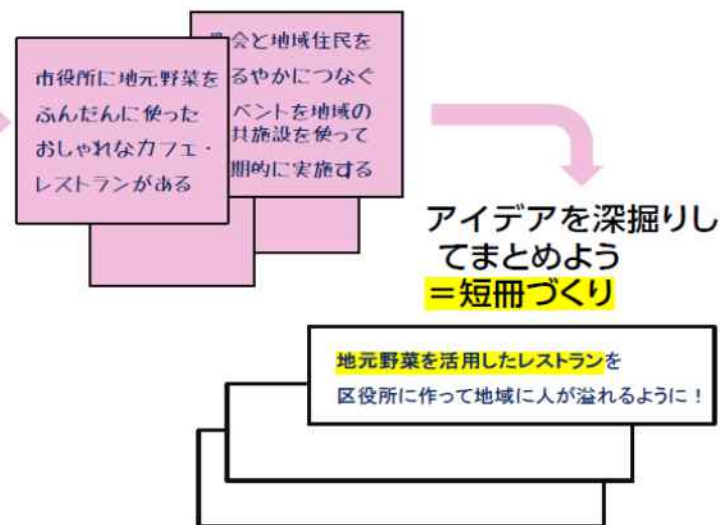
意見交換②

60分

地域の魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えよう

将来像の実現のために公共施設がどのように使えるとよいか考える＝アイデア

発表・まとめ

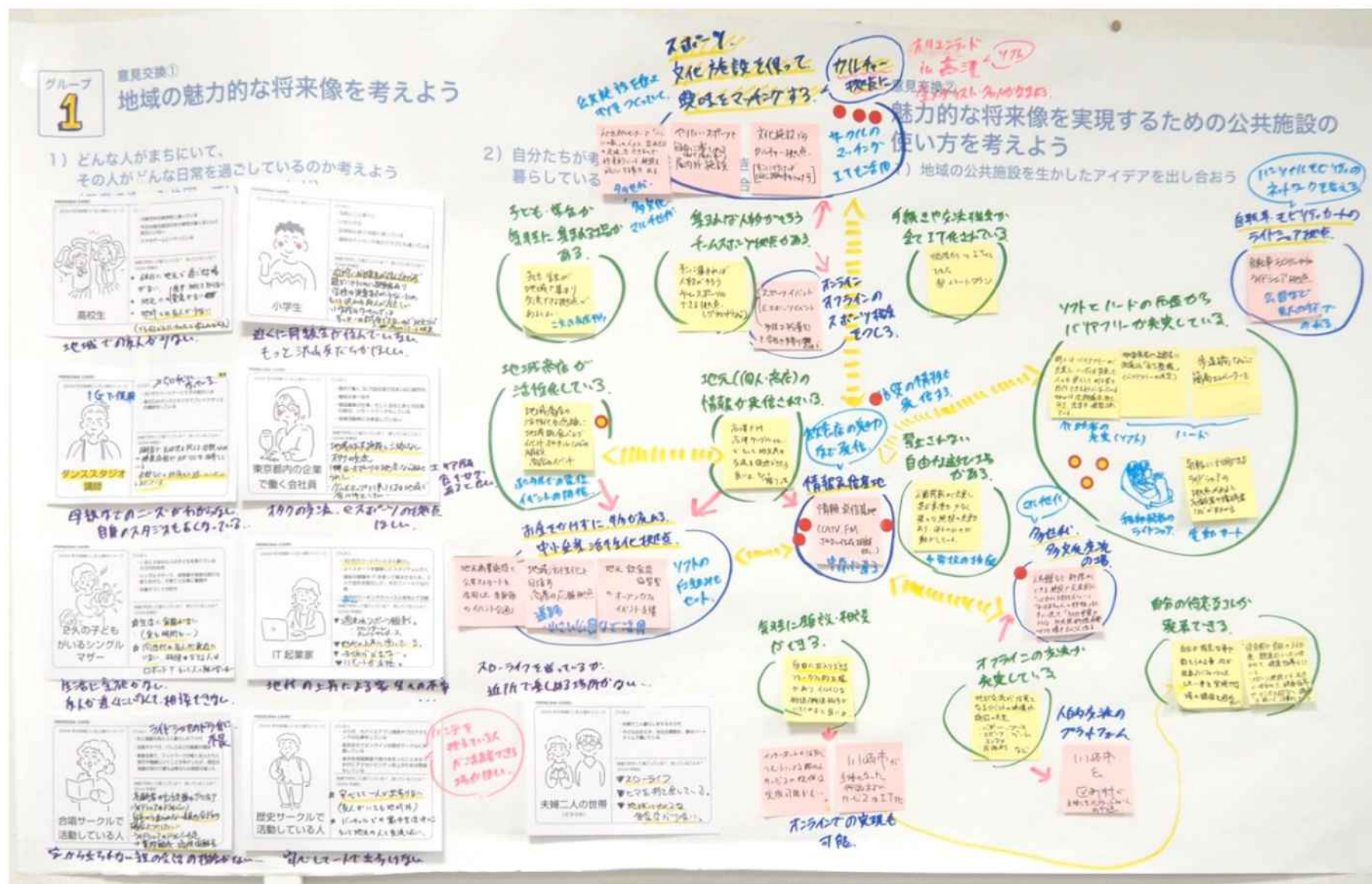


昨年度の振り返り – 第2回の様子 –



昨年度の振り返り - 第2回の様子 -

(参考) ワークシート：高津区1グループ



昨年度の振り返り - 第2回の様子 -

将来像実現のために公共施設がどのように使えるとよいかアイデアをまとめたもの（高津区）

1 ハイナールビルの ライトアップ拠点 （ハイナールビルの ネットワーク化 公園などに あてしめる） （ハイナールの光→物部川）	2 老人向けの施設に限らず 徒歩で行ける施設 を様々な世代が使うようにする。 （こども学校なども老人も使う） （ハイナール にも！）	3 人と出会う交流の場 出来る場 ふるさと館を人が行き来する拠点！ （ふるさと館の活用）
1 地域活性化型 「情報発信基地」 （FM ストリートTV） （面白い 防災 施設）	2 安価な入居費でスタートアップ企業向け団体の！ 施設の保全・管理はしつこく。地域の若年層が 仕事して活かせる場に。 ・小中学校等、施設はきと余る。	3 夢を文化スポーツ教育の中心拠点に 近隣小学校とリンクして多世代が活用できる ように工夫
1 「オリエンテッド」高津 （20代から30代） 「スロウ・カルチャー」の交流拠点 （高津地区を活性化） （高津地区を活性化）	2 地域内の交流イベントに対して 公共施設の貸出しの補助をする。 → 地域のなかりりや、老人の外出支援の創出で、健康寿命を のばす！	3 単身者、働き世代が使える 喫茶付 コワーキングスペースを図書館 （CO-WORKING） （1に）
4 高齢者の働きくみ × 空き家活用 ・障がいのある方の働く場にもなる ・インフラ整備にもなる ・事業にできる ・人を繋ぐサービス（行政が担う） ・企業と連携する	5 持ち手（多世代） 持ち手（多世代） 既存の空きスペースを有効活用して、コワーキングスペース （学校・公園・空き家） （1700坪程度） 家族単位・農村クラス	3 規模は減らさず 支援が必要な子どものケアサービスは無くならない。 支援学校福祉サービスの連携強化
4 区役所が複合施設になるとよい ・図書館と統合する ・飲食できる場所になる ・多目的化にする ・人のつどい場所になる	5 ゼミ・BHK高津区役所を中心に、 様々な世代が利用できるように （高津区役所） 子どもたちの教育、育成を促す聖地化しよう	
4 歩道が広く安心して歩けるまち ・車いす・ベビーカーでも歩ける ・屋根がある歩道 ・学校のほかのバリアフリー化 ・外出しやすくなるまち	5 MADE高津区役所 コミュニティから派生するアウトリーチ情報・ビジネスハブにする。 拠点が多機能で、子どもが簡単に利用できる	
	5 すべての基本として「安全」に災害に強い 公共施設とまちづくりにする。 普段から通っている場所や避難所になる。 民間スペースを使う場合は基本に添わせる	

1 川崎市からの説明⑤

本日の意見交換について

本日の意見交換について – 検討する施設 –

第2回ワークショップで意見交換していただいた



こうなったらいいな！

「モデル地域の魅力的な将来像」

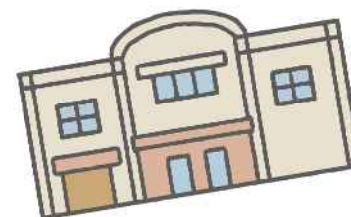
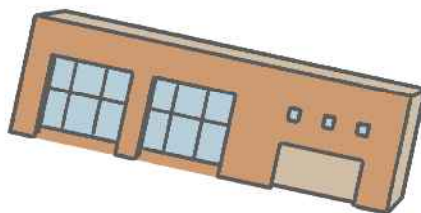
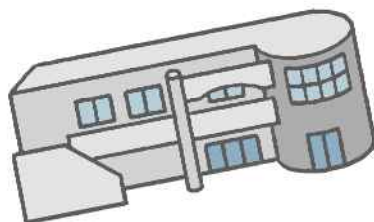
「魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方」



夕方以降にも使えないかな？

を基に、第3回以降では、**身近な地域の将来像**や

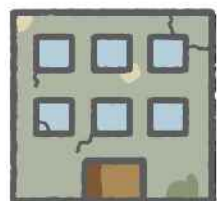
将来に向けて公共施設に必要な機能について検討していきます。



本日の意見交換について – 検討する施設 –

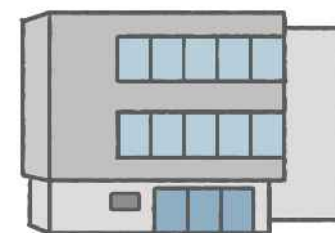
モデル地域内には、多くの公共施設が存在しています。

多くの公共施設の中からワークショップでは
どのような施設を検討すればよいでしょうか？



川崎市としては、

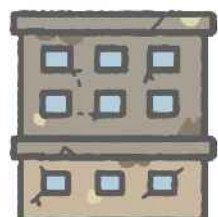
老朽化による施設機能の低下や、
施設の使われ方が課題だと考えています。



本日の意見交換について – 検討する施設 –

川崎市では

「より老朽化が進んでいる施設」かつ、
「施設の使われ方に課題がありそうな施設」を
検討の起点となる施設として選びました。



「起点施設」



※ 公共建築物は築40年頃に一定の修繕コストを要することから、その前段（3年程度）で施設の方向性の整理が必要であることから、令和7年度末時点で築37年以上の施設、かつ今ある施設を活用していくため、利用状況に課題がありそうな施設を選定しました。

※ 今回のワークショップで表示している公共建築物は、川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】令和5年3月31日時点データを基に作成しています。

本日の意見交換について – 起点施設 –

高津区のモデル地域には**10の「起点施設」**があります。

- ・ 梶ヶ谷こども文化センター
- ・ 地域子育て支援センターかじがや
- ・ 上作延老人いこいの家

第3回ワークショップ
(実施済み)

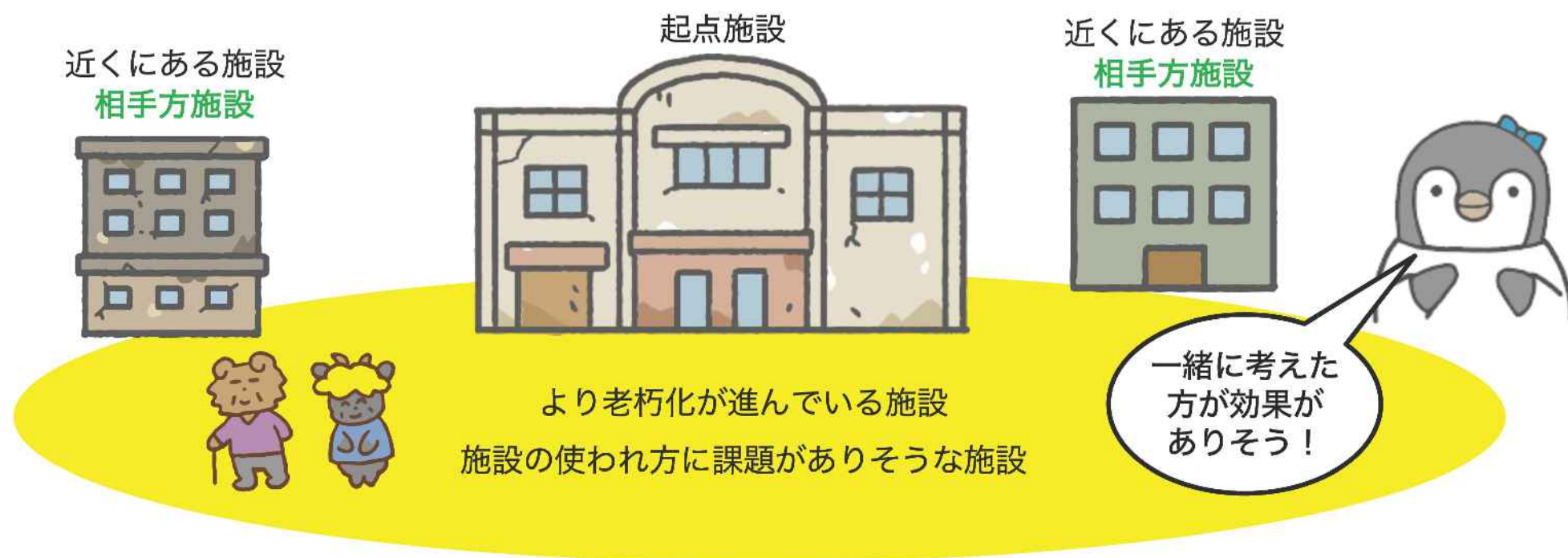
- ・ 高津老人いこいの家
- ・ 生活文化会館（てくのかわさき）
- ・ 男女共同参画センター（すくらむ21）
- ・ 北部身体障害者福祉会館
- ・ 地域福祉施設ちどり
- ・ 福祉パルたかつ
- ・ 高津休日急患診療所

第4回ワークショップ

本日の意見交換について – 相手方施設 –

また、起点施設だけではなく、

その近くにある施設と併せて広域的な視点で検討します。



ここでは、起点施設と併せて検討する施設を「**相手方施設**」と呼びます。

(**相手方施設**は「相手方施設の候補」の中から選びます。)

本日の意見交換について

地図上の表示について

起点施設

- ・・・ 検討の起点となる施設

相手方施設の候補

- ・・・ 起点施設と併せて検討する相手方施設の候補

検討から除いている施設

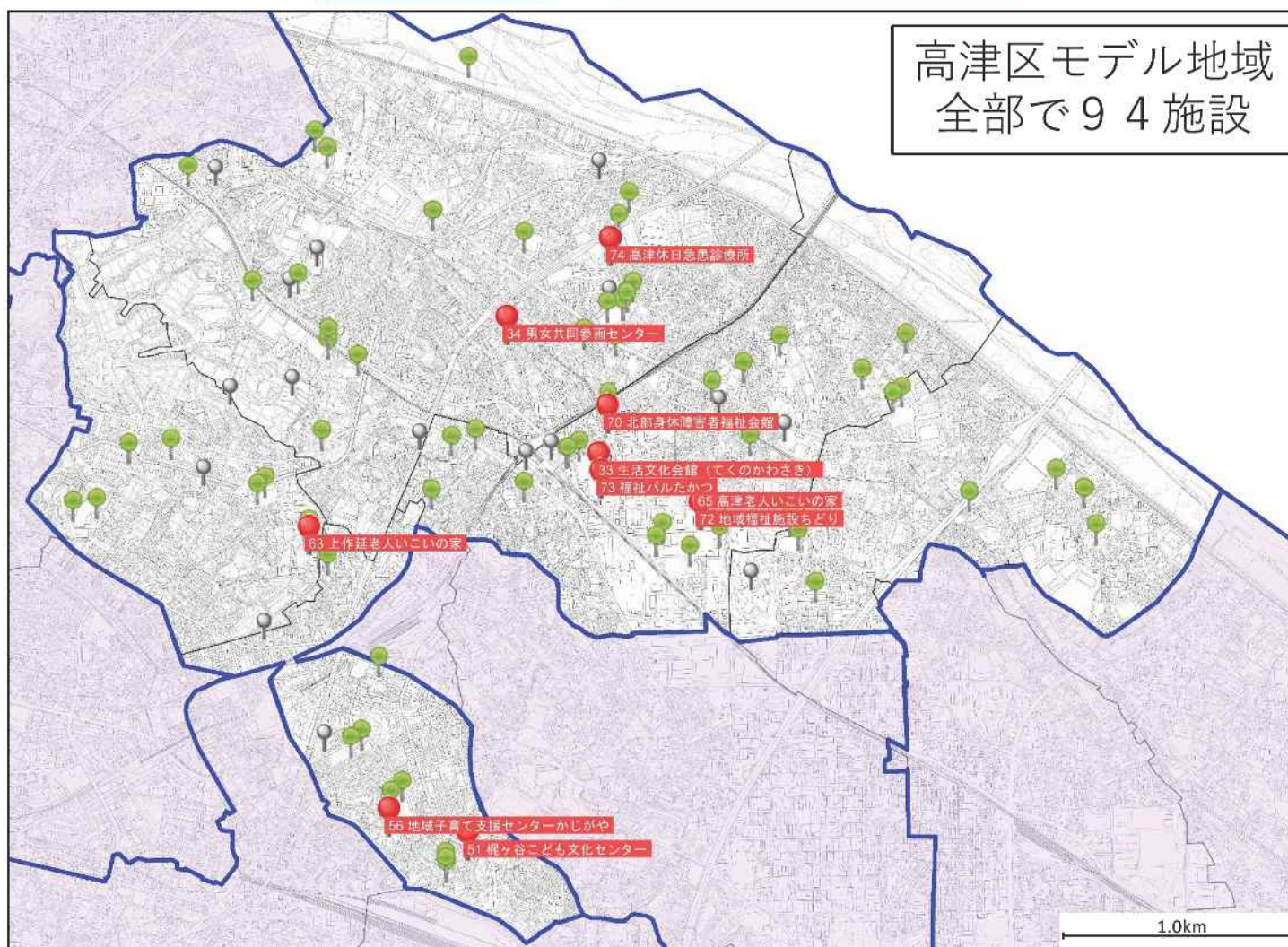
- ・・・ 公衆トイレや消防団器具置場等、特定の用途に限定される施設、及び建替や廃止等の方向性が決まっており、今回の検討から除いている施設

※ただし、施設の状況によっては、灰色で表示された施設についても、併せて考えた方が良さそうなものがあれば、相手方施設に選ぶことができます。

本日の意見交換について

【高津区のモデル地域全域】 ● 起点施設 ● 相手方施設の候補 ● 検討から除いている施設

4
+



※ 起点施設の周辺にある 相手方施設の候補 や 検討から除いている施設 については、資料2・資料3に施設名や位置等を示しています。

－ 溝口エリア －

4

高津区ガイドマップ

74 高津休日急患診療所

34 男女共同参画センター
(すくらむ21)

70 北部身体障害者福祉会館

1・2 班

33 生活文化会館
(てくのかわさき)
73 福祉パルたかつ

65 高津老人いこいの家
72 地域福祉施設ちどり

3・4 班

500m

－ 溝口エリア －

4

航空写真

74 高津休日急患診療所

34 男女共同参画センター
(すくらむ21)

70 北部身体障害者福祉会館

1・2 班

33 生活文化会館
(てくのかわさき)
73 福祉パルたかつ

65 高津老人いこいの家
72 地域福祉施設ちどり

3・4 班

500m

2

本日の進め方

ワークショップの 進め方



意見交換の流れ

意見交換①

60分

起点施設周辺エリアの
将来像（暮らしやすいまち）を考えよう

起点施設周辺エリアの現状把握

将来像（暮らしやすいまち）を出し合う

理由について、聞き取り深める

みどり溢れる
まちなみで
ホッとできる

徒歩圏内に
サードプレイス
（居場所）
がある

入りやすく
居心地のよい
交流の場がある

出た意見をシール投票で重みづけ



将来像を表す**短冊づくり**

ホッとする居心地の良いサードプレイスが溢れるまち

中間発表・休憩

意見交換②

65分

起点施設にあつたらいいなと思う
機能やニーズを考えよう

起点施設の現状把握

将来像を実現するために
起点施設にあつたらいいなと思う
機能やニーズを出し合う
（理由もなるべく書く）

若い人が気軽に集ま
れて交流が生まれる
拠点があるとよい

働き世代が多いため、
夜間にも利用できる、
打合せスペースがある
とよい（地域活動等）

相手方施設に
あった方が良
い場合につい
ても考える

発表・まとめ

シール投票で発表する
内容を絞り込む

起点施設周辺エリアの将来像 (暮らしやすいまち) を考えよう

1) 起点施設周辺エリアの現状把握をしよう

第2回ワークショップで意見が出された「魅力的な将来像」や地域の特徴を確認しよう

2) 起点施設周辺エリアの将来像 (暮らしやすいまち) を考えよう

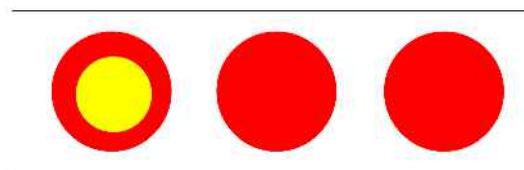
「こんな地域になったらよい」「地域でこんなことが行われているとよい」という視点で、意見をふせんに書いてみよう
ファシリテーターはふせんに書いた理由を聞き取り、なぜそう思っているのか確認します

みどり溢れる
まちなみで
ホッとできる

ふせん1枚につき、
1つのことを書こう

3) シール投票

2) で出された意見の中から、とても共感できる、とてもよいと思った意見に一人3票でシール投票しよう



↑ 一押しシール
一番よいと思うアイ
デアに貼る

4) 短冊のまとめ

シール投票の結果もふまえながら、起点施設周辺エリアの将来像を短冊にまとめよう

5) 中間発表

班で考えた起点施設周辺エリアの将来像を発表しよう
(短冊に書き出したことを中心に1分程度で簡単にファシリテーターが発表)

休憩



起点施設にあったらいいな と思う機能やニーズを考えよう

1) 起点施設の現状把握をしよう

施設の情報（各部屋、築年数、機能等）を確認しよう



2) 起点施設にあったらいいなと思う機能や ニーズを考えよう

意見交換①で出された「起点施設周辺エリアの将来像」を元に、起点施設にあったらいいなと思う機能やそのニーズを考えよう

その機能が相手方施設にあった方がいい場合は書き入れよう

働き世代が多いため、
夜間にも利用できる、
打合せスペースがあると
よい（地域活動等）

なぜその機能があっ
たらいいかの理由も
書こう

3) シール投票

2) で出された意見の中から、とても共感できる意見や、とてもよいと思った意見に一人3票でシール投票しよう



↑ 一押しシール
一番よいと思うアイ
デアに貼る

4) 発表

シール投票の結果も踏まえながら、班で出された意見を共有
しよう
(1班2分程度)



3

意見交換①

起点施設周辺エリアの
将来像（暮らしやすいまち）を考えよう(60分)

- 休憩 (10分) -

4

意見交換②

起点施設にあつたらいいな
と思う機能やニーズを考えよう！（65分）

- 発表・まとめ (20分) -

5

今後の予定・アンケート記入

今後の予定

■第5回 令和6年11月17日（日）14:00から

各エリアや施設の機能・使い方などについて、大事にしたい考え方を深める意見交換を行ったうえで、全5回の成果を取りまとめていただく予定です。



次回は最終回です！



今後の予定

■オープンハウス説明会 ~~令和6年10月27日（日）~~

~~高津区民祭~~において、この取組を広く市民の皆さまに周知します。

高津区民祭の中止に伴い、オープンハウス説明会を別日で開催できるか検討中



イメージ

ありがとうございました！

アンケートにご回答いただき、謝礼のお渡しとなります。